

みどり香るニュース Vol.11

～第8回(平成 25 年度)コンテスト「におい・かおり環境協会賞」 受賞者より、市長表敬訪問のご報告です！～

企画名：蝶と人をいざなう香りのレインボーガーデン

企画者：佐久市民交流ひろばワークショップ

企画場所：市民交流ひろば（長野県佐久市）

表敬訪問：平成 26 年 1 月 17 日（金）

<佐久市長を表敬訪問しました！>

※以下の写真・コメント提供：佐久市民交流ひろばワークショップ

市長から、「素晴らしい賞の受賞につながったことは大変喜ばしく、すばらしいことであり、誠におめでとうございます。『市民交流ひろば』は佐久市の玄関口として、とても重要な場所でもありますのでこの植栽企画によって、より多くの市民の皆様の新たな交流が生まれると共に育まれる公園としても弾みがついて、有効に利活用されていくことを願っております。今後も市民ボランティアの皆様に対して、行政としても出来る限り協力体制で応援致します。」とのお言葉をいただきました。



※写真左から、柳田清二佐久市長、

佐久市民交流ひろばワークショップ：半田ガーデンチームリーダー、井出代表



コンテスト事務局からの一問一答

Q（事務局）：『蝶と人をいざなう香りのレインボーガーデン』とは、どのような企画ですか？

A（佐久市民交流ひろばワークショップ）：公園の「つどいの丘」斜面を中心とした訳 500 平方メートルに、カモミール、セージ、ミントなどハーブを中心に 110 種類約 1500 株を植える企画です。蝶が好む花が咲くという「ブッドレア」も植え、緑と人と生き物が気持ちよく共生できる場所作りを目指します。

Q：「市民交流ひろば」とはどのような場所ですか？

A：長野県佐久市佐久平近くの公園です。昨年平成 25 年に佐久市内で初めての大型公園として開園し、現在は市が管理していますが、花壇の一部についてはガーデンチームが植栽や管理を行う予定です。

Q：応募までの道のりで苦労された点がありましたら、お聞かせ下さい。

A：企画の趣旨について行政に理解いただく点で苦労しました。佐久市はもともと緑豊かな土地ですが、かおりの視点をプラスしたいと考えました。企画を実現するため、諦めずに企画の趣旨を分かっていたいただくことが大切だと思いました。

Q：こちらの企画の今後の展開を教えてください。

A：花のかおりに誘われて、蝶も人も集まるひろば作りに努めたいと思います。植樹にはボランティアの方々の参加も募って、広く市民を巻き込んで維持管理していきたいと思っています。